

内蒙古における投資環境¹⁾

王 和平* , 馬 瑞萍**

はじめに

1979年以来、中国においては「改革・開放」によって全国的に大きく経済発展が進展し、それは国民生活レベルの上昇に大きく貢献してきた。周知の通り、中国のこの間における早い発展には、外資の導入が果たした役割が大きかったことは特に沿岸部での実験によっても示される通りである。しかし、「改革・開放」策の沿岸部に対する傾斜的な実施は、最初は沿岸部の立地条件の優位性を生かして実験的に実施したものの、この実験の成功は実際沿岸部と内陸部との間に大きな格差を作り出してきたのである。少数民族による区域自治地域であり、しかも北部の内陸部に位置している内モンゴも、この流れの中で沿岸部と格差が付けられるようになってきた。この格差を解消するため、また内モンゴ住民の生活水準を早く高めて行くために、沿岸部の経験を生かしながら、自治区の発展をいかに成し遂げて行くかが問題となっている。

中国の「改革・開放」の流れの中で、内モンゴは国全体の政策を実施すると共に、「横向き連合の促進」という自治区の発展現状に相応しい政策も採用している。ねらいは言うまでもなく、

今日までの沿岸部のように外国から経済建設用の資金を導入し、また国内の他の省や市からも資金を導入することによって、内モンゴの資源と労働力を結びつけて、内モンゴ全体の経済発展を活性化させようというものである。内モンゴにとって、「外資の導入」には外国からの「外資」と自治区以外の国内他の省・直轄市・自治区からの「外資」との概念がある。本稿では、内モンゴの投資環境、特に外国からの外資の導入に関する投資環境を紹介することにしたい。

一．内モンゴの概況

内蒙古自治区は中国の北部の辺境地域に横たわっている。自治区全体の面積は118.3万平方キロで、中国の東北、華北、西北といった「三北」地域にわたっている。北方はロシア、モンゴルと接していて、国境線は併せて4200キロある。東方は中国の東北三省（黒龍省、吉林省、遼寧省）と隣り合い、また南方と西方には河北省、山西省、陝西省、甘肅省、寧夏回族自治区などと接している。黄河が内モンゴの南を横切り、衝撃平原を形成して、内モンゴの大きな食糧生産基地となっている。内モンゴの地形は主に高原であるが、気候は典型的な温帯大陸性気候に属している。

* 中国内蒙古自治区対外開放弁公室処長

** 中国内蒙古自治区外事弁公室引進国外智力弁公室

行政単位として、内蒙古は5つの市と7つの盟に分かれている(呼和浩特市, 包頭市, 烏海市, 赤峰市, 通遼市, 呼倫貝爾盟, 興安盟, 錫林郭勒盟, 烏蘭察布盟, 伊克昭盟, 巴彥淖爾盟, 阿拉善盟)。内蒙古自治区内におけるこれらの一級行政単位の下に、さらに101の旗或いは県, 県レベルの市と区に分かれている。この中には、鄂倫春自治旗, 鄂温克自治旗, 莫力達瓦自治旗という3つの少数民族自治旗も含まれている。内蒙古自治区の政府所在地は呼和浩特市である。

内蒙古自治区は、中国における蒙古族による区域自治の地方であり、また漢民族が総人口の多数を占め、併せて49の民族が共同で生活しているところでもある。現在、内蒙古の総人口は約2326万人であって、その中には、漢民族が約1851.3万人、蒙古族が約385.8万人、その他の民族が約88.6万人が含まれている。

二．内蒙古における経済発展の優位性

内蒙古は特殊な位置にあり、豊富な資源、安価な土地及び労働力を有している。その上、一定規模の産業基盤及び産業発展に必要な優遇政策が施行されている。

特殊な位置とは、中国の「三北」地域にわたって、周りに八つの省や直轄市或いは自治区と隣接しているため、中国の東北経済圏とクレーター渤海地域の資源供給地となつていることである。また北にはロシア、モンゴルと繋がっているため、「欧亜大陸橋」の拠点ともなっている。したがって、中国の対外開放政策の拡大、国家経済戦略が西部地方へシフトする中、ますます重要な役割を果たすようになってくることが期待される。

資源の優位性については、まず土地資源から見てみれば、内蒙古では現在481.1万ヘクタールの耕地を有し(各省・直轄市・自治区の中で6位を占めている)、1人当たりの耕地占有面積は0.23ヘクタールであって、全国における1人当たり耕地占有量の3倍であり、各省・直轄市・自治区の中で1位を占めている。農作物の種類にしても、内蒙古では25種類の農作物があり、主に小麦、トウモロコシ、稲、大豆、馬鈴薯、穀、紅梁などがある。食糧生産地として、内蒙古では主に黄河河套平原、土默川平原、西遼河平原、大興安嶺南東地域及び陰山山脈・燕山山脈の丘陵地区に分布している。1998年、内蒙古自治区の食糧生産量が1575.4万トンに達して、史上最高の記録を残した。現在、内蒙古の1人当たり食糧生産量は各省・市・自治区の中で第3位を占めている。また、草原資源から見てみれば、内蒙古における草原の面積は78.8万ヘクタールであり、中国の草原総面積の27%を占め、全国一である。草原の類型分布は東から西へ、主に草甸(湿地)草原、典型草原、荒漠草原、草原化荒漠と荒漠草原などのように分布している。呼倫貝爾、錫林郭勒、科尔沁、烏蘭察布、鄂尔多斯、烏拉特などの大草原では、1000種類余りの家畜飼育用植物が生息している。1998年、内蒙古における家畜の合計数は7387万頭(匹)に達し、中でも品種が改良された家畜が大・小で合計約4929.9万頭(匹)に達している。

内蒙古における森林の面積は18.7万平方キロであり、全国森林面積の1/10を占め、これも全国の省・自治区の中で最大の面積で、森林被覆率は13.8%に達して、全国の平均値より上回っている。林木の総蓄積量は9.7億立方メートルで、全国で第5位を占めている。森林資源には

主に大興安岭原始林,天然再生林,人工栽培林など三種類から成り立っている。

鉱物資源についても非常に豊富で「東林西鉄,南糧北牧,至る所に鉱物あり」といわれている。世界中における埋蔵量が既に明らかになっている140種類の鉱物の中で,120種類余りが内蒙古で発見され,その中で,40種類余りの埋蔵量が中国各省・市・自治区の埋蔵量の上位10位に入っている。更に20種類余りが中国各省・市・自治区の上位3位に入り,7種類が1位を占めている。例えば,内蒙古における石炭の埋蔵量は2253億トンであり,山西省の次で全国の1位を占めている。包頭地域は「稀土の故郷」と称され,稀土の保有量は現在8459万トンと明らかにされ,世界で1位を占めている。稀土の工業開発可能な埋蔵量は3600万トンあり,中国全体の90%を占め,世界の70%を占めている。また,石油及び天然ガスを保有している盆地の面積も,内蒙古は全国の第2位を占めており,塩,アルカリ,硫酸ナトリウムなどの埋蔵量は全国の第1位を占めている。さらに,非金属鉱物も内蒙古は豊富に有している。中でも特にフッ素の埋蔵量が将来全国の1位になる可能性が大きいと推定される。

内蒙古自治区は1947年に設立されて以来,ここで生活してきた各民族の人々の共同努力によって,一定の産業基盤が確立しており,一定規模の産業優位が形成されつつある。まず,食糧と畜産物の生産に関しても相当の規模と実力を持つようになり,現在,毎年500万トンのぼる販売用の食糧を国家政府に供給し,牧畜業の総合生産能力も全国の5大牧畜地域の首位を占めている。また,内蒙古におけるエネルギー工業の発展スピードも早く,中国の4大露天掘り

炭坑のうち3つが内蒙古にあり,発電機の総発電能力は760万KWあるが,毎年華北電力網及び東北電力網だけにそれぞれ64.5億KWhと64億KWhの電力を供給している。エネルギーの優位によって早く発展してきた鉄鋼業,非鉄金属加工産業,建築材料加工業,化学工業などの原材料工業は,将来大きく発展して行く勢いが現れてきている。更に,大型の機械設備や大型のトラックといった装備工業に属する重要産業も,全国の中で重要な位置を占めている。カシミヤやウールによる紡績業及びグリーン食品など,内蒙古の地域特色を反映する加工業の発展の将来性が大いに期待され,内蒙古が今日まで既に建設してきた大・中型の国有企業が,79年以來の改革の深化について,競争力が増強されつつあり,将来的に必ず内蒙古自治区経済発展の柱になると予測されている。

現在,中国の国家政府は民族区域の発展を加速させるため,内蒙古自治区に対して様々な方面の支援を実施しており,今後このような支援は更に拡大する傾向にある。一方,内蒙古は,『民族区域自治法』に基づいて,必要に応じて,更なる制限緩和及び実行可能な政策を打ち出すことが可能であるため,自治区の経済発展を加速させる有力な保証となっている。

以上の様々な優位性をもって,内蒙古は「改革・開放」以来既に大きく発展してきた。1996年以來,内蒙古のGDP額,財政収入額,都市住民の1人当たり現金収入及び農民・牧民の1人当たり純収入額といった重要な経済指標の成長スピードが,すべてこの間における全国の平均値を上回っている。

三．内蒙古におけるインフラ整備の状況と 政策環境に対する改善

1998年現在、内蒙古における国有鉄道の幹線は14本あるが、これらの幹線からさらに12本の支線が建設されている。また、地方所有の鉄道は5本建設されている。鉄道の運営距離は併せて6000キロに達している。一方、道路の建設・通行可能距離は併せて4.5万キロに達している。航空ラインとして、国内各地域行きのライン20本あり、国際ライン ウランバト行きラインも既に運営が始まっている。空港は7個所で建設され、ラインの運営距離は併せて2.14万キロに達している。内蒙古域内の対国際貿易可能な町は現在18個所ある。郵便・通信に関しても、内蒙古は近年大きな変化が現れてきて、旗・県レベル以上の町間の長距離通信はすべてデジタル式の設備に変更され、電話間の通話もオペレーション・システム化が実現できている。その上、郷と郷の間はすべて電話による通信が可能になっている。

経済の発展につれて、内蒙古においては、都市化傾向が強まり、その都市機能や規模は拡大しつつあり、都市として必要不可欠な条件が益々完備されるようになってきている。現在、内蒙古全域内における町及び都市化の比率は32%になっている。市レベルの町或いは都市は20ヶ所で、戸籍が都市住民である人口は534.4万人であり、内蒙古総人口の23.1%を占めている。町や都市における公共施設に対する建設は増強され、水・電力に対する供給、汚水に対する処理、環境に対する保護、町や都市に対する緑化などの面における発展は比較的早く、都市生活に必要なサービス項目は完備するようになってきている。

政策環境に対する改善の面において、現在の内蒙古では、各盟、市が外国の投資者に向けて一個所での集中事務処理及び「一駅式」サービスの方式²⁾を取っている。外国からの投資者が内蒙古での事業を運営しやすくなるため、内蒙古自治区政府は、続々と外資に対する優遇政策や法規を打ち出している。その中には、土地の利用、徴税、銀行からの貸出、水・電力・ガスの供給、貨物の輸送などの内容が含まれている。このほか、国内企業及び外国投資者の利益を保護するため、如何なる形式による不法な検査、不法な費用徴収、不法な罰金、及び管理部門の圧力による資金支出量の不法増加などを、徹底的に禁止するような政策を取っている。

四．対外開放の重点領域及び海外からの投資状況

内蒙古において、対外開放といっても、すべての産業を画一的に重要視しているわけではない。自治区の全体発展の短期及び中・長期発展の必要に応じて、重点的に支援しようとする産業がある。以下では、6つの重点政策をあげる。

1．農・牧業の開放を促進する。内蒙古はこれから、黄河河套平原、土默川平原、西遼河平原、大興安嶺南東地域及び陰山山脈・燕山山脈の丘陵地区で、市場に需要があり、品質と生産量が高く、しかも効率もよい農産物の開発に投資をする外国からの投資を歓迎している。また、呼倫貝爾、錫林郭勒、科尔沁などの大草原で牧畜業の基地を建設したり、それぞれの家畜の質を上昇させ、畜産品の生産量及び品質を高めて、内蒙古における畜産品の構造的調整に貢献するような外国の投資を歓迎している。

2．内蒙古は今後、農産物・畜産品加工業を開放させ、内蒙古の特色あるグリーン食品を主

とするグリーン製品に関わる産業を特に促進をしていく方針である。内蒙古は工業汚染がほとんどない広大な自然界を有しているため、安全で、健康に有益なグリーン製品に関連する³⁾産業の発展について他の地域より優位性を有している。これからの市場にはグリーン食品の需要が大幅に増大していくと予測されているため、グリーン食品に関わる産業が今後の内蒙古にとって特色ある新しい経済成長点とも言える。従来、内蒙古は豊富な自然資源を利用して自治区全体の経済及び社会全体の発展を推し進めていこうという構想がある。したがって、グリーン食品に対する開発は内蒙古特有のブランド品の開発に結びつくだけでなく、関連産業の発展をも促進させ、最終的には人々の生活水準の上昇効果もある。しかし、グリーン食品の開発には大量の資金と先進的な技術を必要としているため、グリーン食品に関連する産業への外国からの投資が歓迎されているのである。

3. エネルギー業、交通建設業などの基盤産業及びインフラ整備産業の開放も促進する方針である。大型電力網へ送電できる会社の選択は競争市場に任せるといった新しい政策が中国で実施された後、内蒙古の火力発電産業はコストの削減競争に迫られ、従来の石炭採掘産業が、炭坑の近接地での電力化へ変化していくと推測されている。このような変化は大量の投資用資金を必要としている。さらに、持続可能な発展を求めるための内蒙古の再生可能資源 強い風と長い日照時間、即ち、風力発電やソーラー発電などの有効利用のためにも、外国からの投資が必要とされている。

内蒙古における道路の建設は、国道内蒙古部分及び自治区級道路の建設、改善を重点としている。これらの建設を加速させるために、外資

の導入や国内他の地域との連合を積極的に促進しなければならないのである。

また、内蒙古における都市のインフラ整備については、自治区政府の所在地である呼和浩特市及び名盟や市の政府所在地を重点地域としている。具体的には、主に交通道路に対する改善、排給水設備に対する改善、エネルギー・ガスの集中供給、環境保護、洪水事前防止など、公共施設を主要目標としている。これらのインフラ整備の改善には現在主に世界銀行などの国際機構や外国政府から借款をし、その有効利用を通して、自治区全体の投資環境の改善をはかろうとしているのである。

4. 内蒙古は最新で実用的な技術の導入を増強する方針をもっている。今後の内蒙古は、外資導入の重点を高度で実用な技術に置き、技術の革新及び新しい技術の開発を行う傾向にある。これを実現させるためには、内蒙古における一部の市場を開放することによって高度な技術を有している外国の大手企業の投資を誘致するような動きが見られる。具体的には、現行の国際慣行を参照して、経済や法律的方法を通して、外国の先進技術の内蒙古への移転を誘導及び促進しようとしている。この中でも、ソフト開発関連の技術の促進はできるだけ多くし、一般設備の輸入はできるだけ少なく押さえ、さらに国内他の地域や外国の高度な技術によって自治区の伝統的な産業に対する改革を加速させようとしている。

5. 内蒙古は外資と外国の先進技術の導入を促進することによって、自治区内の資源の有効利用率を高め、生態系環境の改善を高めていく方針もある。このような考え方は自治区の持続的な経済及び社会の発展を図ろうとするものである。即ち、今日までの内蒙古はアルカリ化さ

れた地域、砂漠化地域及び悪化された草牧場などに対する改善、資源に対する有効利用、生態系環境に対する改善などの面で、既に一定の効果は収めているが、今後は、外資の利用によって、さらに国内・外の経済的・技術的な合作や交流を推し進めて経済や社会の全般的な発展を早く達せさせようとしている。同時に、内蒙古は対外開放を通して、内蒙古の環境関連産業⁴⁾を促進させ、環境関連産業の国民経済における重要度を高め、自治区のグリーン製品関連産業を発展させていこうとしている。

6. 内蒙古には更に、国内、国外の投資者を誘致して、自治区における草原、森林、湖沼、砂漠などの自然景色、民族風土、歴史文化など内蒙古特色のある観光資源の開発を促進し、観光場所の建設、サービス産業の改善、便利な観光環境の建設を推し進めていく方針がある。これは主に、国内・国外の大手観光会社との合作を積極的に行うことにより、内蒙古における観光業の規模の拡大、関連産業の発展を促進していくものである。

これらの政策の内蒙古における実施は、まだスタート段階にあり、その実施効果はこれから大いに期待できるであろう。ここでは、内蒙古におけるこれまでの外資利用の状況を振り返って見てみたい。

五「改革・開放」後における内蒙古の外資利用状況

中国の1970年代末からの「改革・開放」政策における外資導入の政策は、最初は立地条件の良い沿岸部地域で重点的に実施し始めた。したがって、外資導入の条件がそのスタート段階から内陸部の方が沿岸部と差が付けられてい

た。しかし、近年国家の経済発展の重点が徐々に内陸部にシフトして来る中、また内蒙古の80年代後半以来の早い経済成長もあるため、内蒙古も外資の受け入れ条件が益々形成されつつあり、外資の利用額が年々増加する傾向が見られてきている。1997年における内蒙古の外資利用総額は6.0億ドルに達して前年度より6%を増加した。その内訳として、外国からの借款は約4.0億(国際金融機関からは約2.3億)ドルで、外国からの直接投資は1.3億ドルに達している。一方、この外国から導入してきた「外資」に対し、同年度における国内他の地域からの資金は実際50億人民元(株式市場からの融資額は14.6億元)を利用できた⁵⁾。これらの資金の導入には、自治区における今日までの18個所の対外直接貿易都市及び4つの国家級開発区・辺境経済合作区・行き来直接貿易区、9つの自治区級開発区、呼和浩特市などの「延辺境開放都市」などが、大きな役割を果たしてきたと考えられる。以下では、海外から導入してきた「外資」に関する利用について考えていく⁶⁾。

1979~1997年の間、内蒙古における外資導入の協議金額は約31.2億ドルであるが、外資の実際利用額は約20.5億ドルであった。この実際利用額の中で、外国からの直接投資額は約4.4億ドルしかないが、借款は14.4億ドルに達して、株式市場から調達できたのは約1.9億ドルであった。最も多かったのは借款であった。

内蒙古の外国からの借款に対する利用は主に国家政府による統一借款金からの低利息借款を利用している。この種の外資利用は、80年代の半ばごろの世界銀行からの借款を内蒙古の教育事業へ投資したことがそのスタートとなっている。生産項目に外国政府からの借款を利用し

たのは、主に80年代の末から90年代の初期までの間に集中していた。この間は丁度内蒙古における外国借款利用の最も多い時期であり、これまでにおける比較的大きな外資利用の項目はほとんどこの間にスタートしたものであった。また、内蒙古の外国間接投資は少ないが、その大部分はインフラ整備や文化・教育・衛生の面に充てられていた⁷⁾。外国からの借款と間接投資の利用はこれまでほとんど政府主導的な方法で内蒙古における投資を行ったため、このような資金は内蒙古政府が計画していた发展方向とほぼ一致していたと言える。しかし、このような大規模な借款の政府による利用は、現段階の内蒙古にとってその返却も同時に考慮しなければならない。これからの内蒙古にとって、外資の利用重点をやはり外資系企業(「三資企業」⁸⁾とも言う)へシフトをするように努力すべきだと考えられている。

1997年までに、内蒙古の外資利用総額は本来少なかったが、中で外資直接投資額はもっとも少ないことが特徴的であった。しかし、これらの直接投資の出資国や地域は40を超えているため、出資先が非常に分散しているともいえる。また、内蒙古における外資系企業の数は97年末までに1308社に達して、投資の分野はエネルギー、紡績、農・林・牧業など24の業種に及んでいるという状況から、外資直接投資企業の内蒙古における投資分野も全体として非常に広いことが分かる。これらの直接投資企業も含む内蒙古の外資系企業の中で、1000万元以上の外資投資額を有する企業はわずか1社(1250万元)しかなく、その次に多いのは880万元、450万元、257万元、254万元などの投資額であった。外資系企業における投資額の全体状況をみれば、外資投資額の順位で上位100位

に入る企業の中で、100万元の外資投資額を超える会社は11社しかなく、その次に、50万～100万元の間には4社であり、20万～50万元の間は30社であり、20万元未満のは100社の内約6割を占めているが、この中で9万～2万元のは全体の1/3を占めていた⁹⁾。このような投資状況は、内蒙古外資系企業の中で「外資」の投資規模が平均的に小さかったことを語っている。

さらに、次の表1、表2、表3から、次のようなことが言えるだろう¹⁰⁾。

- A. 表1の投資額から見た外資投資企業の上位11社のほとんどは、紡績や食料品などの加工業分野に属している。この投資構造は上述した内蒙古の今後の6つの重点開放領域における畜産品加工業と一致している。
- B. 表2は、従業員の雇用人数から見た外資投資企業上位100社における上位15社の雇用状況を示している。この表から、97年までに、外資系企業における外資投資額から見た上位100社に入った企業は4社しかなく、しかも、その順位もかなり後ろにあることが見られる。このような雇用状況から、内蒙古における外資投資企業は現段階で現地への雇用面の貢献度が高くなかったことが分かる。
- C. 表3は、97年度に内蒙古現地政府への納税額・付加価値費納入額からみた外資投資企業の上位27社(年間100万元を超えている)の状況を示している。これらの会社には、外資投資額の上位100社に入った企業は3社しかなかった。中でも、外資投資額の上位1位と上位11の会社は、納税額・付加価値費納入額の面ではそれぞれ15位と6位を占めている。一方、納税額順のこの上位27位に入った企業は、外資投資額

の上位100社には1社も見あたらなかった。したがって、97年までに、内蒙古における外資投資企業は内蒙古現地への財政収入面でまだ大きな貢献は果たさなかったと言える。

- D. 表1の外資投資額から見れば、内蒙古の「外資系企業」の中で、名前は「外資」と関連しているものの、企業の総資本金(総資産)に占める外資額の比率は平均的に低い。このことは、内蒙古の一部の企業が「外資系企業」の名を借りて外資系企業に対する優遇政策を享受していることも同時

に語っている。

- E. 97年までの内蒙古において、外資投資企業の投資規模がまだ非常に小さいこと自体は、またこれまでの内蒙古における経済発展の中で外国からの資本の受け入れの余地があることを語っている。

要するに、全体的に見れば、97年までに、外資投資企業は内蒙古に大きな経済的な効果を与えていなかったが、外資が内蒙古への産業投資が本来遅かったため、また量的にも非常に少なかったため、大きな期待ができなかったことはある意味で仕方のないことだと考えられる。

表1. 内蒙古外資投資企業における投資額から見る上位11社(百万元を超えている企業)の状況

| 順位 | 上位11社 | 投資額(万元) | 従業員数(人) (外資系企業の順位) | 資産総額(万元) (外資系企業の順位) |
|----|------------------|---------|-----------------------|------------------------|
| 1 | 内蒙古東方麦片工業有限公司 | 1250 | 上位100社にはない | 上位100社にはない |
| 2 | 内蒙古維信(探春)有限公司 | 880 | 200(75位) | 12234(12位) |
| 3 | 内蒙古宝克総舎有限公司 | 450 | 上位100社にはない | 5703(40位) |
| 4 | 呼和浩特維信羊剪絨有限公司 | 257 | 500(29位) | 4194(51位) |
| 5 | 呼和浩特華歐澱粉製品有限公司 | 254 | 上位100社にはない | 6289(37位) |
| 6 | 内蒙古維信二狼山羊絨紡織有限公司 | 191 | 190(82位) | 3569(61位) |
| 7 | 内蒙古仙山鉱泉飲料有限公司 | 155 | 上位100社にはない | 7418(33位) |
| 8 | 安哥拉紡織有限公司(哲盟) | 120 | 上位100社にはない | 上位100社にはない |
| 9 | 泰順興業食品有限公司(巴盟) | 114 | 上位100社にはない | 7672(31位) |
| 10 | 内蒙古科技印務有限公司 | 109 | 上位100社にはない | 上位100社にはない |
| 11 | 蒙西セメント有限公司 | 100 | 471(31位) | 26892(3位) |

資料：内蒙古統計局編『内蒙古統計年鑑1998』, 中国統計出版社, 1998 (P.641, 644, 655) より作成。

表2. 内蒙古外資投資企業の従業員数から見る上位15(700人を超える)社の状況

| 順位 | 上位15社 | 従業員数 | 資産総額 (外資系企業内の順位) | 外資投資額 (外資系企業内の順位) |
|----|-----------------|-------|---------------------|---|
| 1 | 包头鹿达羊絨衫有限公司 | 2345人 | 23803万元(6位) | 上位100社には見当たらないため、この15社への外資投資額は全て2万元を超えていないと考えられる。 |
| 2 | 包头苏蒙特亚麻纺织合营有限公司 | 2300人 | 24678万元(5位) | |
| 3 | 包头鹿苑道森羊絨製品有限公司 | 1494人 | 9773万元(18位) | |
| 4 | 内蒙古巴盟河港文化商城 | 1200人 | 2850万元(75位) | |
| 5 | 赤峰華富絨毛製品有限公司 | 1097人 | 3830万元(56位) | |
| 6 | 包头鹿宏羊絨衫有限公司 | 1014人 | 12792万元(10位) | |
| 7 | 包头鋼鐵機電設備製造有限公司 | 919人 | 8160万元(28位) | |
| 8 | 内蒙古東達羊絨製品有限公司 | 841人 | 5681万元(41位) | |
| 9 | 内蒙古東馬羊絨製品有限公司 | 806人 | 上位100社にはない | |
| 10 | 赤峰星丰人造板有限公司 | 773人 | 3738万元(57位) | |
| 11 | 包头鹿建羊絨紡織有限公司 | 749人 | 13074万元(9位) | |
| 12 | 内蒙古青松制衣有限公司 | 743人 | 11484万元(15位) | |
| 13 | 通辽頂新化工有限公司 | 711人 | 23093万元(7位) | |
| 14 | 内蒙古青島紡織有限公司 | 710人 | 8642万元(20位) | |
| 15 | 包头富華羊絨衫有限公司 | 710人 | 12380万元(11位) | |

注：97年、外資の投資額が2万元を超える企業は全て外資直接投資額の上位100社に入っている。

資料：内蒙古統計局編『内蒙古統計年鑑1998』, 中国統計出版社, 1998年 (P.641, 644, 645) より作成。

しかし、外資投資額の量が少ないとは言え、その投資額の順位(表1)から見れば、投資の重点は主に内蒙古のこれから発展させていこうとする分野の一部 畜産加工工業 と一致しているため、これらの投資に伴う現代的な企業経営・管理方法や技術的なノウハウはこれからの内蒙古の発展に貢献が期待できると予想されている。

内蒙古の上述したような外資の不足状況をもたらしたのは、勿論「改革・開放」当初における中央政府の沿岸部傾斜の政策的な要因もあったが、内蒙古自らにも自省しなければならない部分が多いと考えられる。例えば、内蒙古における上述したような重点開放領域に関する情報の更なる開放、宣伝などに、もっと力をいれるべきではないだろうか。

終わりに

内蒙古の投資環境は上述の通り独自の優位性をもっているが、内蒙古の現在の外資導入はこれまでにおける中国沿岸部の外資大量導入の環境的条件とはかなり異なっている。例えば、国際的に言えば、80年代後半以来環境保護意識が世界中に高まってきている。内蒙古も外資導入をする際この問題を考慮しなければならなくなってきている。これが外資導入の阻害要因になるかどうかはこれからの努力次第だと考えられる(例えば、グリーン製品関連産業への投資促進は必ずしも外資導入の阻害分野とは言えないのである)。さらに、外資導入を積極的に促進している他の国や国内における他の省・自治区など、強力な競争相手があるため、外資の導

表3. 内蒙古外資投資企業の納税額・付加価値費納入額から見る上位27社の状況

| 順 | 上位27社 | 納入額 (万元) | 外資投資額 (外資系企業内の順) | 従業員数(人) (外資系企業内の順) | 資産総額(万元) (外資系企業内の順) | 利潤総額 (外資系企業内の順) |
|----|-------------------|-------------|---------------------|-----------------------|------------------------|--------------------|
| 1 | 北方重型自動車有限責任公司 | 5300 | 上位100社にはない | 423(35位) | 42427(2位) | 2500(1位) |
| 2 | 包头鹿达羊绒衫有限公司 | 719 | 同上 | 2345(1位) | 23803(6位) | 915(11位) |
| 3 | 内蒙古轻松制衣有限公司 | 608 | 同上 | 743(12位) | 11484(15位) | 1108(8位) |
| 4 | 包头鹿建羊绒紡織有限公司 | 600 | 同上 | 749(11位) | 13074(9位) | 519(15位) |
| 5 | 赤峰星丰人造板有限公司 | 530 | 同上 | 773(10位) | 3738(57位) | 835(13位) |
| 6 | 蒙西セメント有限公司(伊盟) | 489 | 100万元(11位) | 471(31位) | 26892(3位) | 905(12位) |
| 7 | 内蒙古青島紡織有限公司 | 419 | 上位100社にはない | 710(14位) | 8642(20位) | 382(18位) |
| 8 | 東儀羊绒制品有限公司 | 406 | 同上 | 上位100社にはない | 8323(26位) | 1529(5位) |
| 9 | 包头鹿西罗纳稀土冶炼有限公司 | 300 | 同上 | 308(52位) | 4098(52位) | 500(17位) |
| 10 | 包头钢建机电设备有限公司 | 244 | 同上 | 919(7位) | 8160(28位) | 100(40) |
| 11 | 赤峰維維羊剪绒制品有限公司 | 220 | 同上 | 593(21位) | 1899(10位) | 上位100社にはない |
| 12 | 内蒙古哲彥紙制品有限公司 | 209 | 同上 | 185(83位) | 上位100社にはない | 1690(3位) |
| 13 | 赤峰丹龙药业有限公司 | 205 | 同上 | 282(59位) | 同上 | 233(25位) |
| 14 | 德利电子有限公司 | 200 | 同上 | 397(40位) | 3295(88位) | 160(30位) |
| 15 | 内蒙古東方麦片工業有限公司 | 195 | 1250万元(1位) | 上位100社にはない | 上位100社にはない | 65(48位) |
| 16 | 包头鹿峰陶瓷有限公司 | 190 | 上位100社にはない | 317(49位) | 7089(34位) | 上位100社にはない |
| 17 | 内蒙古東馬羊绒制品有限公司 | 166 | 同上 | 806(9位) | 100社にはない | 311(23位) |
| 18 | 包头鹿金羊绒紡織有限公司 | 165 | 同上 | 376(42位) | 89754(1位) | 1574(4位) |
| 19 | 赤峰二毛制衣有限公司 | 164 | 同上 | 450(33位) | 上位100社にはない | 126(37位) |
| 20 | 呼和浩特昭君大酒店 | 143 | 同上 | 上位100社にはない | 同上 | 5(99位) |
| 21 | 内蒙古麗華セメント有限公司 | 140 | 同上 | 同上 | 同上 | 42(65位) |
| 22 | 包头蘇蒙特亚麻紡織合營有限公司 | 133 | 同上 | 2300(2位) | 同上 | 34(60位) |
| 23 | 呼和浩特市曼斯特ビール飲料有限公司 | 128 | 同上 | 上位100社にはない | 同上 | 202(27位) |
| 24 | 内蒙古莫爾道嘎台川木制品有限公司 | 124 | 同上 | 381(41位) | 2368(90位) | 上位100社にはない |
| 25 | 包头鹿発羊绒染整有限公司 | 120 | 同上 | 287(57位) | 4351(50位) | 同上 |
| 26 | 内蒙古大唐药业有限公司 | 116 | 同上 | 上位100社にはない | 3154(73位) | 同上 |
| 27 | 萨日朗羊绒衫有限公司 | 113 | 10万元(65位) | 320(48位) | 5098(45位) | 130(34位) |

資料：内蒙古統計局編『内蒙古統計年鑑1998』, 中国統計出版社、1998年(P.641, 643, 644, 645)より作成。

入において、内蒙古は非常に厳しい環境に置かれているのである。特に国内の状況を見れば、外資導入に努力をしているのは内蒙古だけではなく、内陸部に位置する他の省や自治区も同時に行っているし、それに、既に大量の外資が導入できている沿岸部の省や直轄市もまた引き続き外資の誘致に力を入れている。このような競争環境の中で、内蒙古は独自の魅力ある政策を採らなければならない状態に迫られている。

内蒙古にとって、外資の利用には、従来の借款中心的な外資構造は長期的に内蒙古の地場産業の競争力育成に有益かどうかは問題だと考えられる。これからは外資を導入する際、外資額の構造的な調整も考慮しなければならないのである。

以上のような問題に関する研究はこれからの内蒙古の外資利用において重要な課題になるであろう。

注

- 1) 本稿は、1999年7月に中国内蒙古「生態環境脆弱区経済可持続発展研究」研究グループの王和平氏が立命館大学で講演を行ったときの講演内容に基づいて、王和平と馬瑞萍により、共同修正の上で作成されたものである。
- 2) 一個所での集中事務処理及び「一駅式」サービス：外国からの投資者にとって、現地の事情が詳しく分からないため、たとえ内蒙古に投資しようとしてもその実務的な手続きが早く済まさない、という事情に応じて、投資関連の手続きを速やかに済ませる改善策のことである。
- 3) 主にはグリーン食品産業を指すが、栽培業や養殖業の発展において、環境の汚染もなく、様々な化学有害物による被害もなく、人類に純天然的な食品を提供してくる産業のことをグリーン製品の関連産業という。
- 4) 主に、経済発展において「固形廃棄物」、「汚

水「有害気体」などのものによる環境汚染を有効に阻止し、また農・牧業に対する開発において水土の流失を防止すると共に生態系の環境も保護するよう、いわゆる持続可能的な発展を実現させるような産業のことを指す。

- 5) 1997年のドル対人民元の為替レート：1ドル = 8.290人民元。(1999年11月14日のインターネットホームページ<http://WWW.ide.go.jp/Jaoanese/Publishing/odf/toukei.pdf>参照)
- 6) 烏日途編『1998年内蒙古国民経済和社会発展報告』、遠方出版社、1998年、P.157～160、参照。
- 7) 内蒙古自治区計画委員会編『内蒙古自治区国民経済和社会発展“九五”計画及2010年遠景目標』、内蒙古人民出版社、1997年、P.226。
- 8) 「三資企業」：主に外国資本による独立投資企業、外国資本と中国資本との共同投資企業、外国と中国との提携・合併企業を指す。外資直接投資企業は三資企業の中の一つである。
- 9) 内蒙古統計局編『内蒙古統計年鑑1998』、中国統計出版社、1998年、P.644。
- 10) 表1、表2、表3は『神戸市外国語大学研究科論集』第2号(1999年)に掲載の馬端萍「内蒙古女性の教育促進による発展に関する実例研究」(21～50頁)中の表8、表9、表10を引用。

主な参考文献

1. 内蒙古自治区計画委員会編『内蒙古自治区国民経済和社会発展“九五”計画及2010年遠景目標』、内蒙古人民出版社、1997年。
2. 烏日途編『1998年内蒙古国民経済和社会発展報告』、遠方出版社、1998年。
3. 内蒙古統計局編『内蒙古統計年鑑1998』、中国統計出版社、1998年。
4. 内蒙古自治区政府新聞弁公室・内蒙古自治区対外開放弁公室・内蒙古対外経済貿易庁編『開放的内蒙古』、内蒙古画報出版社、1996年3月。
5. 内蒙古計画委員会編『走向繁栄の内蒙古』、内蒙古画報出版社、1997年4月。
6. 内蒙古自治区政府新聞弁公室編『中国内蒙古自治区(1947～1997)』、北京五洲傳播出版社、1997年4月。